

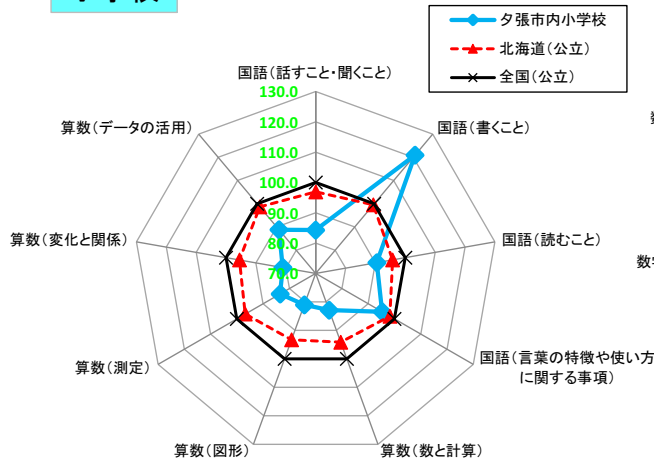
■夕張市内の状況及び学力向上策（小学校数:1校、児童数:32人）（中学校数:1校、生徒数:30人）

【教科全体の状況】

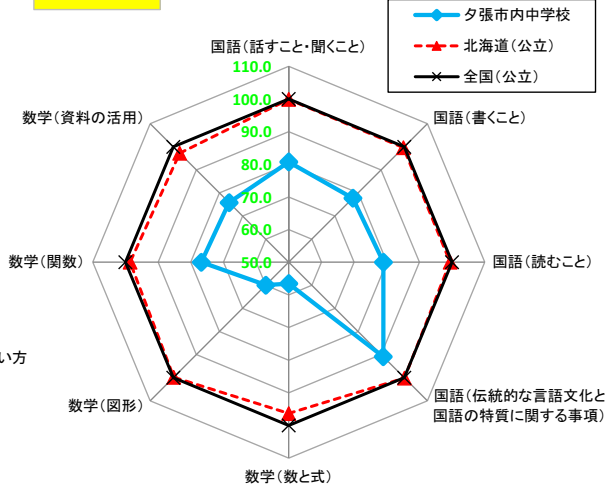
教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	62	54
算数・数学	59	38

小学校

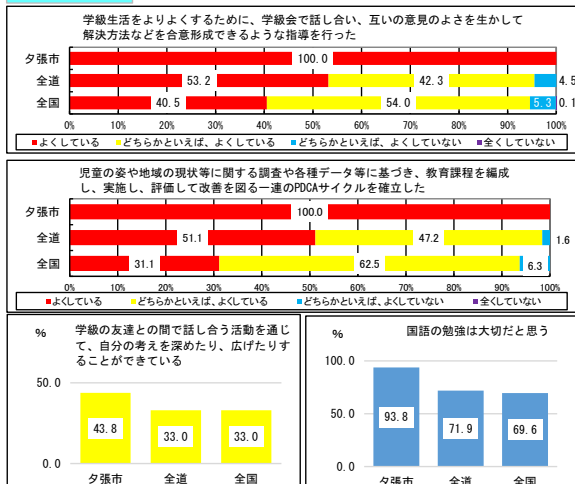


中学校

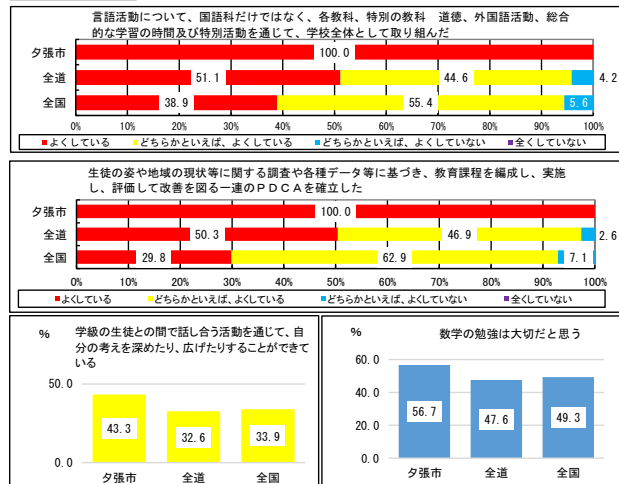


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行ったことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、授業改善が図られ、国語の勉強は大切だと思う児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立したことにより、授業改善が図られ、数学の勉強は大切だと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【夕張市の学力向上策】

- ◎ 「ゆうぱりっこ、学び育成プラン」に基づく取組の充実と検証・改善
- ◎ 夕張市小中連携学力向上プロジェクト委員会による学力分析と改善方策の検討
- ◎ 小中一貫した学びのスタンダードの徹底とCSと連携した補足的な学習の充実
- ◎ 1人1台端末の効果的な活用を図るための教員の研修機会の充実